

委託訓練カリキュラム

訓練の種類別 (該当する項目は「✓」印)	資格の取得をめざす訓練	✓	職場見学等を実施する訓練		
訓練科名	介護福祉士実務者研修科(6か月)	就職先の 職務・仕事	高齢者施設、障がい者施設、高齢者居宅サービス事業所、障がい者居宅サービス事業所、障がい者就労支援事業所、放課後デイサービス等、医療機関の看護助手		
訓練期間(定員)	6か月(20人)				
訓練生の条件	特になし				
訓練目標 (仕上がり像)	介護に従事する者として必要な基礎から応用までの知識・技能を身につけるとともに、実務者に必要とされる専門的な知識・技能を習得する。				
訓練概要	国家資格につながる介護福祉士実務者研修やガイドヘルパー講座、普通救命講習などを通して、利用者の主体性といのち・健康を支援する知識と技術(わざ)を習得する。また、アンガーマネジメント(怒りのコントロール)や就職支援、職場見学、IT導入が進む福祉業界で対応できるように福祉PC講座などを学び、福祉への就職の準備をおこない、介護業界で幅広く活躍できる専門性と資格を身につける訓練となっている。				
訓練修了後に取得できる資格 ※取得に一定の要件あり	名称(介護福祉士実務者研修) 名称(大阪府移動支援従業者養成研修全身性障がい課程) 名称(普通救命講習Ⅰ)	認定機関(NPO法人あすなろ) 認定機関(NPO法人あすなろ) 認定機関(大阪市消防局)			
訓練に関連した資格	名称(日商PC検定試験(文書作成Basic))	認定機関(日本商工会議所)			
科目		科目の内容		時間	
訓練内容	人間の尊厳と自立	①人間の多面的な理解と尊厳 ②自立の支援 ③人権と尊厳		6	
	社会の理解Ⅰ	①介護保険制度の背景と目的 ②介護保険制度の基礎的理解 ③介護保険制度における専門職の役割		6	
	社会の理解Ⅱ	①社会と生活のしくみ ②地域共生社会の実現に向けた制度や施策 ③社会保険制度 ④障がい者総合支援制度 ⑤介護実践にかかわる諸制度		36	
	介護の基本Ⅰ	①介護福祉士の制度 ②尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開 ③介護福祉士の倫理		12	
	介護の基本Ⅱ	①介護を必要とする人の生活の理解と支援 ②介護実践における連携 ③介護における確保とリスクマネジメント ④介護福祉士の安全		24	
	コミュニケーション技術	①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるコミュニケーション技術 ③介護場における利用者・家族とのコミュニケーション ④介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション		24	
	生活支援技術Ⅰ	①生活支援とICF ②居住環境の整備と福祉用具の活用 ③移動・移乗の介護技術の基本 ④食事の介護技術の基本 ⑤入浴・清潔保持の介護技術の基本 ⑥排泄の介護技術の基本 ⑦着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本 ⑧家事援助の基本		24	
	生活支援技術Ⅱ	①移動・移乗の介護 ②食事の介護 ③入浴・清潔保持の介護		36	
	介護過程Ⅰ	①介護課程の意義と目的 ②介護過程の展開 ③介護過程とチームアプローチ		24	
	介護過程Ⅱ	①介護職による介護過程の進め方 ②介護過程の実践的展開 ③施設で暮らす高齢者の介護過程 ④在宅で暮らす高齢者の介護過程		30	
	介護過程Ⅲ	利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開		54	
	こころからのしくみⅠ	①移動・移乗に関連するからだのしくみ ②食事に関連するからだのしくみ ③入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ ④排泄に関連するからだのしくみ ⑤着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ ⑥睡眠に関連するからだのしくみ		24	
	こころからのしくみⅡ	①人間の心理 ②人体の構造と機能 ③移動・移乗における観察のポイント ④食事における観察のポイント ⑤入浴・清潔保持における観察のポイント ⑥排泄における観察のポイント ⑦着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント ⑧睡眠における観察のポイント ⑨終末期における観察のポイント		72	
	発達と老化の理解Ⅰ	①こころの変化と日常生活への影響 ②からだの変化と日常生活への影響		12	
	発達と老化の理解Ⅱ	①介護職による介護過程の進め方 ②介護過程の実践的展開 ③施設で暮らす高齢者の介護過程 ④在宅で暮らす高齢者の介護過程		24	
	認知症の理解Ⅰ	①認知症ケアの理念と視点 ②認知症による生活障害、心理・行動の特徴 ③認知症の人とのかかわり・支援の基本		12	
	認知症の理解Ⅱ	①医学的側面からみた認知症の理解 ②認知症の人や家族への支援の実際		24	
	障がいの理解Ⅰ	①障がい者福祉の理念 ②障がいによる生活障害、心理・行動の特徴 ③障がい児・者や家族へのかかわり・支援の基本		12	
	障がいの理解Ⅱ	①医学的側面から見た障がいの理解 ②障がいの特性に応じた支援の実際		24	
	医療的ケア 講義	①医療的ケア実施の基礎 ②高齢者および障がい児・者の喀痰吸引概論 ③高齢者および障がい児・者の喀痰吸引実施手順解説 ④高齢者および障がい児・者の経管栄養概論 ⑤高齢者および障がい児・者の経管栄養手順解説		60	
	医療的ケア 演習	①喀痰吸引のケア実施 ②経管栄養のケア実施 ③救急蘇生の実施		15	
	安全衛生	福祉職場における安全衛生および腰痛予防		3	
	働くことの基本ルール	労働締結 賃金・労働時間・休憩・休日・有給休暇 労働契約の終了 労働保険 社会保険 母性保護など		3	
	全身性ガイドヘルパー講義	障がい者(児)福祉制度と移動支援事業 移動支援従業者の業務 移動支援従業者の職業倫理 障がい者の人権 障がいの理解 障がい者(児)の心理 移動介助の基礎的知識		14	
	全身性ガイドヘルパー演習	移動介助の基本技術 交通機関利用の介助援助		11	
	普通救命講習Ⅰ	心肺蘇生法、AED、異物除去、止血法		3	
	福祉PC講座	PC操作の基本、介護記録の作成、事故報告書の作成、日商PC検定(Basic)試験対策		11	
	福祉現場コミュニケーション講習	利用者・家族とのコミュニケーション、職員間コミュニケーション、チームケアにおけるコミュニケーション		6	
	ふくしフィールドワーク(職場見学)	職場見学		6	
	就職支援	就活の実践的支援	志望動機、自己PRの見つけ方、模擬面接のロールプレイ		6
		就活のIT活用支援	履歴書、職務経歴書などエントリーシートの作成、ビジネス文書の作成、ビジネスメールの出し方、デジタルリテラシー・社会の変化		9
		ビジネススキル研修	①社会人基礎力 ②コミュニケーション能力 ③ビジネスマナー		18
アンガーマネジメントの理解		「怒り」をコントロールする意義、「怒り」感情の機能と役割、「怒り」の事例検討、衝動のコントロール、思考のコントロール、行動のコントロール		3	
訓練時間総合計			648 時間		
学科	439 時間	実技	173 時間	就職支援	36 時間

※訓練に関連した資格:受験は任意、費用は自己負担となります。受験要件は資格により異なります。

【訓練実施施設名】

NPO法人あすなろふくしの学校福島駅前教室

【所在地】

〒553-0003

大阪市福島区福島7-6-4 宮川ビル5階

【電話番号】

06-6451-4400

【最寄り駅】

JR環状線 福島駅(徒歩1分・距離0.05km)

JR東西線 新福島駅(徒歩4分・距離0.2km)

阪神本線 福島駅(徒歩4分・距離0.2km)

【最寄り駅からの地図】

